

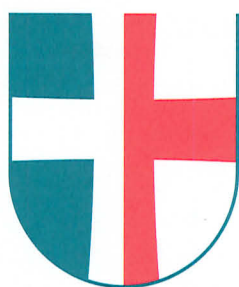


DVOŘÁK

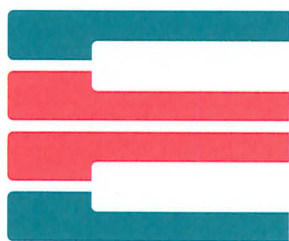
ドヴォルザーク

序曲「謝肉祭」

"Karneval" Ouverture



MAHLER
マラー
歌曲集「子供の不思議な角笛」より抜粋
"Des Knaben Wunderhorn"

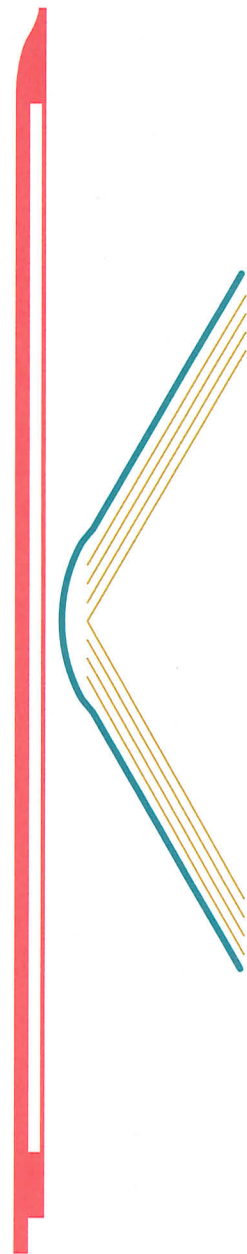


BRUCKNER

ブルックナー

交響曲第4番「ロマンティック」

Sinfonie Nr.4 "Romantische"



オーケストラ・ドウ・センダイ 第14回定期演奏会 指揮 大浦智弘 アルト 高山圭子

2017年2月11日(土) 仙台市民会館 開演 18:00 (開場 17:30)

全席自由 800円

プレイガイド 藤崎 ヤマハミュージックリテイリング仙台店 カワイミュージックショップ仙台 サンリツ楽器仙台北店 けやきの杜(日立システムズホール仙台内)

メール予約 メールにて前売り券の予約を承ります。枚数・氏名・電話番号をお書きのうえ送信ください。ticket@orchestre-de-sendai.jp

助成 (公財)仙台市民文化事業団 後援 (公財)宮城県文化振興財団 河北新報社 朝日新聞仙台総局 毎日新聞仙台支局 読売新聞東北総局 エフエム仙台 MFM 仙台放送局 TBC 東北放送
仙台放送 ミヤギテレビ KHB 東日本放送 仙台リビング新聞社 S-Style

※会場には乳幼児連れのお客様用に優先席をご用意しております。

大浦 智弘

Tomohiro Oura

指揮



宮城県塩竈市出身。東京学芸大学教育学部を卒業後、同大学大学院を修了。ピアノを斎藤信子、須田昌宏、作曲を小林康浩、吉崎清富、指揮を松岡究、山本訓久、小林研一郎、スコア・リーディングとオペラ・コーチングを田島亘祥の各氏に師事。2007、2009年イタリア・カタニアにおけるArte Musicale Italianaのマスター・コースにおいてベッリーニ歌劇場副音楽監督のレオナルド・カタラノット氏に師事、氏よりディプロマを授与される。

これまでに数々のオペラ公演やコンサートを指揮するほか、新国立劇場、びわ湖ホールをはじめ各地のオペラ団体や管弦楽団、合唱団等において副指揮者や合唱指揮者を務めている。特に井上道義、チョン・ミョンフン、阪哲朗、ユーリ・テミルカーノフ、ロベルト・リッツィ=プリニョーリ、沼尻竜典、ヴィト・クレメンテ、キンボー・イシイ、大勝秀也、北原幸男、上岡敏之、高関健といった著名な指揮者のアシスタントを務めている。

また、近年はマニャール/交響曲第4番、ステーンハンマル/交響曲第1番、カルウォヴィチ/ヴァイオリン協奏曲、交響曲《復活》、パリー/交響曲第2番《ケンブリッジ》、ドヴァリョーナス/ヴァイオリン協奏曲、イヴァノフス/交響曲第3番、デュボワ/交響詩《アドニス》、ゴーベール/交響的絵画《海の歌》、ロージャ・マイクロシュ/ヴィオラ協奏曲、ラングストレム/交響曲第2番《我が祖国》等の日本初演を手掛けるなど、知られざる作品の演奏にも意欲的に取り組んでいる。2012年鳥取県鳥取市にて中村敬一氏台本・新倉健氏作曲のオペラ《窓》の世界初演の指揮を務め、2014年宮城県塩竈市にて岡氏作のオペラ《ポラーノの広場》の東北初演(演奏会形式)を指揮した。2015年には日立シビックセンター開館25周年記念事業のひたち野外オペラ《マクベス》を指揮し、約1万人もの観客のもと公演を成功に導いた。

現在、日立シビックセンター音楽ホールNYOC音楽監督、オーケストラ《エクセルシス》正指揮者。栃木フィルハーモニー交響楽団常任指揮者。オーケストラ・ドウ・センダイ指揮者。厚木交響楽団、町田フィルハーモニー交響楽団、麻生フィルハーモニー管弦楽団、愛媛交響楽団客演指揮者、国立音楽大学オペラ研究会指揮者。東洋大学混声合唱団指揮者。東京二期会オペラ研修所講師。関西二期会オペラ研修所客演指揮者。

高山 圭子

Keiko Takayama

アルト



国立音楽大学声楽科卒業。これまでに、ベートーヴェン/交響曲第9番、ヘンデル/メサイア、バッハ/マタイ受難曲、ヨハネ受難曲、口短調ミサ、ブラームス/アルトラブソディー、モーツァルト/レクイエム、ドヴォルザーク/レクイエム、メンデルスゾーン/パウロ、エリア、ほかオラトリオをはじめとする宗教曲等のアルトソロとして、仙台フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、東京交響楽団、日本フィルハーモニー、ほか数々のオーケストラと共演。その他、ドイツ歌曲を中心としたソロコンサートにも多く出演している。友愛ドイツ歌曲コンクール、長久手国際オペラ声楽コンクール入選。日本モーツァルトコンクール奨励賞。日本演奏連盟、宮城県芸術協会各会員。

Orchestre de Sendai

オーケストラ・ドウ・センダイ

Orchestre de Sendai (通称オケセン)は、2004年に発足したアマチュアオーケストラです。現在は仙台市を始め、県内各地及び近県からもメンバーが集まり、年に一度の定期演奏会を中心に活動を行っています。オケセンは「参加しやすいオーケストラ」であることを大切にしており、楽器を始めて間もない方や長いブランクを挟んで演奏活動を再開した人にとっても居心地のよいオーケストラであることを心がけています。そして居心地のよさに甘えることなく、一人一人が自立した「街の音楽家」として、音楽を通じ表現したいことを追求しています。メンバーは老若男女、幅広い年齢層で構成され、なかでも若手社会人や大学院生が多いのが特徴です。またメンバー同士の交流も盛んで、音楽以外の場でも頻繁に集まっており、メンバーの仲の良さはオケセンの魅力であり財産です。

第14回定期演奏会では3年ぶりに大浦智弘氏を指揮に迎え、チェコ-オーストリアの音楽を取り上げました。序曲にドヴォルザーク作曲の《謝肉祭》、中曲にマーラー作曲の歌曲集《子供の不思議な角笛》より抜粋、そしてメインにブルックナー作曲の交響曲第4番《ロマンティック》を演奏します。今回のプログラムはオケセン初のマーラーに挑戦し、東欧という大地で生まれた音楽と向き合いました。序曲は賑やかなお祭りや人々の営みを、中曲はソリストに仙台市在住の高山圭子氏を迎え少し不思議な音楽と心地よい旋律を、そしてメインはブルックナーが求め描いた響きを表現できればと考えております。今回は冬の夜の演奏会になり、「楽都」の街でオケセンが創り出すチェコ-オーストリアの情景を、皆様とご一緒できればと心より願っております。

団員募集

オケセンは、「一期一会」をコンセプトに活動しています。年齢・楽器の経験年数は問いません。わたしたちと一緒に「オーケストラ」の世界を楽しむ仲間を心よりお待ちしております！

練習日：毎週日曜日(午後6~9時) 練習場：旭ヶ丘市民センター等 対象：楽器経験者(オーケストラ初心者歓迎) ※オーディションはありません。

団費：月ごとの団費はありません。演奏会毎に参加費を徴収いたします。 問い合わせ：info@orchestre-de-sendai.jp

※募集楽器、練習日程等の詳細は、webサイトをご参照ください。 <http://orchestre-de-sendai.jp>